



高校生議会に参加してきました！

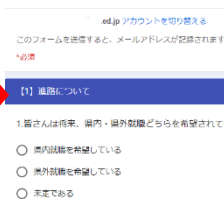
今年度、生徒会長の上田君（M3）、副会長の中原君（M2）を中心とし、鳥取県庁で開催された高校生議会に参加しました。高校生議会は県政や議会への関心を高めてもらおうと2年に1度開催しており、今年は新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりました。本校は「持続可能な工業高校とは-鳥取県のものづくり高校の未来について-」というテーマのもと、答弁をさせていただきました。

① 6月に全校生徒に高校生議会について説明を行いました。



②全校生徒に「Google Forms」を活用したアンケートを実施しました。

「高校生議会」について



③全校生徒に回答してもらったアンケート結果を集計後、質問原稿を作成し、担当議員の語堂議員と打ち合わせを行いました。



④10月31日、鳥取県庁全員協議室（議会棟別館3階）にて、高校生議会が開催されました。



■質問内容

- ① 工業高校はなぜ人気が無くなりつつあるのか、工業高校が魅力溢れる学校になるように、具体的などのような取組が必要か。
- ② 就職に強い工業高校で、進路が未定の者を除いて約3割が「進学」を希望し、その内の7割を超える生徒が県外への進学を希望していることから、工業高校生に対する地元での進学の受け皿づくりに力を入れていただきたいと思うが、どのように考えているか。また、専門的知識や技術を身につけた工業高校の卒業生が高校卒業後、鳥取県に残って地元企業でしっかりと技術を継承していくことが、地元を担う私たち工業高校生の役割である。工業高校生が卒業後も鳥取県で学べる環境づくり、「働きながら学べる県（けん）」。こういった環境も必要が大切だと考えるが、働きながら学べる社会人への支援を進めることについて、どのようにお考えか。

■まとめ

本校の全校生徒の意見をまとめた質問は、副知事、教育長からご回答を頂きました。閉会式では内田 県議会議長より、発表された全生徒を代表して上田君（M3）へ参加賞を贈呈していただきました。

今回参加した2名は「鳥取県には様々な課題があることを知った。常に変わりゆく日々の中でこれからは自分たちのような若い世代がいち早く世の中に対応し、鳥取県の未来について知ること、そして鳥取県の未来について考えること、声をあげることが大切だと感じた。」と発言していました。

工業高校の未来について考えることが、将来の自分たちの未来へ繋がっていることを考える良い機会になりました。今後も地域と共に連携を図り、より良い学校づくり、そして地域づくりを目指していきたいと思います。



下記のQRコード及び、リンク先よりご視聴頂けます。本校の発表は「2:16:01」からとなっております。
鳥取県議会：委員会等インターネット映像配信

[QRコード]



[リンク]

<http://www.kensakusystem.jp/tottori-vod/video/R04/R041031-15-1.html>